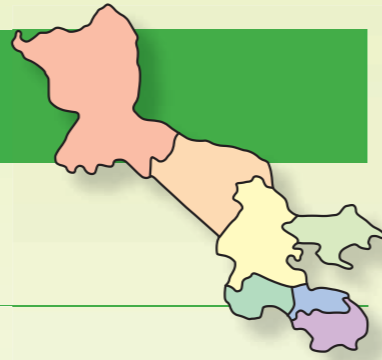


大崎市における地域福祉活動



●基本方針

= 地域の絆と支え合い =

「ひとびとの 心ふれあう 地域づくり」のもとに、ふれあいと支え合いの地域づくりを目指します。

●7つの重点課題と事業展開手法

①ふれあいと支え合いによる何にでも参加できる新たな地域づくりのために =住民や当事者が参加できる、社会福祉事業関係者の組織化=

各種地域内での活動や、関係団体の活動に、多様な形で参加できるような“参加のしきみ”を整えます。

具体的には、関係団体協働による「地域交流福祉まつり」事業を各種団体と共催イベントとして“おおさき 地域の輪 まつり”を開催します。

地域の輪をつくるため、地域の輪実施委員会方式とし、当日のスタッフは勿論のこと、企画段階から参加できる形態で、当事者にも参加を呼びかけ多くの方々と一緒になって事業を展開します。

こうした事業や活動を通じて、関係団体の関連会員として登録し、様々な事業等に参加を呼びかけていきます。

②ひとびとの絆をつくるボランティアの養成のために =ボランティア活動の普及推進=

1. 地域内活動のボランティアを養成します。
2. 対話訪問ボランティアを養成します。
3. 見守り活動ボランティアを養成します。
4. ボランティア研修会を計画的に開催します。



5. ボランティア交流会を開催します。
6. ボランティアリーダーの養成及び研修会を定期的で開催します。
7. 災害に備えた、災害ボランティアの養成及び体制整備訓練を行います。

③支え合いを具体化する地域見守りネットワークの構築のために =地域におけるふれあい・支え合い活動の推進=

1. 見守り活動を目的とした地域別の実行委員会を設置します。
2. 従来型の安否確認や定期訪問の活動を展開します。
3. 各種関係団体による地区行事を開催します。
4. 世代間交流を定期的で開催します。
5. 家に居ることの多い高齢者向けに、本人の確認を得た上で、地区内の子どもから、“元気ですか?” 便を発行します。



④ふれあいと笑顔があふれる世代間交流の推進のために =地域をつくる世代間の絆づくりの推進=

1) 福祉教育の推進

地域で生活する様々な人に対する理解を深めていくために、福祉教育を積極的に推進します。

1. 幼稚園・保育所の幼児と老人クラブの交流
(昔遊びやレクリエーションなど)
2. 小学生児童と地域の中高齢者との交流
郷土芸能の伝承、地域の文化財・風土に対する理解
地域産業の理解などを題材とする
3. 中学生と障がい者・高齢者との交流
地域に様々な人が生活しているからこそ「共に生きる」
ことを理解できるよう、さまざまなプログラムを実施します。

- ①人に対する理解
- ②地域における様々な福祉活動の理解
- ③社会における問題を発見できる
- ④地域社会の一員であることを理解し自覚できる

